

🌸 もい・かわだより 最終号 🌸

2024.03.15 なかよしこども園

🌟 明日は卒園式！

保護者のみなさん。長い幼児期の子育て、大変お疲れさまでした。あんなに小さかった子どもたちは、しっかり胸を張って、次に向かって進んでいこうとしています。

そして、明日は卒園式です。いま、どんな心境でしょうか。

子どもたちは今日も変わらずでした…明日のことを考えて少しそわそわしている子、ステキなお洋服に心躍らせている子、小学校に胸を膨らませている子、友達とのお別れに寂しさを感じている子…色々な様子もみえましたが、相変わらずとても元気に過ごしていて、担任たちは明日が卒園式なことに、いまだに現実味がない感じです。1年間は、あっという間でした。

明日は、ただ44人全員で一緒に卒園式ができればいいな…それだけを願っています。

今年、沢山のクラスだよりを発行してきました。おたよりのなかで子どもたちの様子を共有して、一緒に成長を喜んだり、子どもたちの生活に一喜一憂する…そんな作業をそれぞれの場所で、一緒にできていたら嬉しいです。そんなおたよりも今回でおしまい。クラスの様子をどうにかして伝えようと、小さい文字になってしまったり、遅い時間に配信することもありました。読みづらいことが多く、お手数をおかけしました。それでも保護者のみなさんがおたよりの感想をくれたり、そのことについてお話して下さったことが、“共感”になっている実感があって、とても嬉しかったです。

今号は、年長担当職員から最後のメッセージです。

1年間、本当にありがとうございました！

1年のはじめ、この学年を持たせてもらうことになり、大切にしたいことを担任たちで決めました。クラス活動を基盤にし、“クラス”を一人ひとりの居場所にする。自分の気持ちをどんなことであれ、表現できること。自分たちの生活を、自分たちで創っていくこと。この1年、色々な出来事があって、迷ったり悩んだりするときもありました。それでも、このことを思いだして、ふたりで話し合い、軌道修正していきました。

キャンプは、普段の延長でありながら、特別感を味わえるように。運動会は、軌道にのってきたクラスの雰囲気を見事に引き出せるように。リレーでそれぞれがひとつもふたつも大きくなっていった姿を見て、絶対に身体表現は『私は最強』でやろう！と即決定でした。生活展は、クラスの成長の集大成。各クラスのカラーが色濃く出て、子どもたちは本当にイキイキとしていたように感じます。

また、今年は行事だけでなく、毎日のクラス活動を本当に大切にしてきました。子どもたちとやりたいことをミーティングし、毎日の活動をつくる。日々自分たちのしたいことがどんどん叶って

いくことで、子どもたちはより自信をつけていきました。私たちが一番大切にしていた毎日のミーティング。そのなかで子どもたちは自己を知り、他者を知っていきました。そのなかで自分を大事にできるようになって、ひとのことも大事にできるようになりました。1年で、こんなにも子どもたちが成長し、心も身体も大きくなって、もう明日であつという間に卒園です。

私たちの願いは、これからの色んなことに挫けず、折れず、強く自分を持って生きていってほしい。長い人生のなかのたった数年。でも、人生を形成する大事な数年。地面に大きな根っこを生やし、広い大地に力強く根付いた44の芽が、大きな木になりますように。いつも心のなかで応援しています。

保護者の方々・・・いつもあたたかく見守っていただきありがとうございました。そして日々の保育へのご理解、ご協力、ありがとうございました。色んな場面で子どもたちの成長を一緒に見守れたこと、本当に嬉しかったです。きっとこの先、子育てに悩むこともあるかもしれません。そんな時は、いつでもなかよしに戻ってきてください。なかよしは、大人の居場所でもありますからね。

担任たちは、この生活に区切りがついてしまうことが少し寂しいです。本音は、まだまだみんなといたいです。まだ一緒にミーティングして、アイス作ったりブランコしたり、どろけいやってみんなで笑っていたいなあ……。いやそれでも、大きくなることに胸を膨らませている子どもたちの背中を押して、笑顔で見送りたいと思います。あ…でもいまの子どもたちなら自分で歩いていけるはず。本当に大きくなりましたね。

もり組・かわ組のかわいい愛おしい子どもたち。卒園、おめでとう！

明日で全員が揃うのは最後です。どうぞ明日の卒園式、よろしくお祈りします！！

もり組担任 吉田明子(あんこちゃん)

かわ組担任 山田ひかり(ぴっぴ)

明日はいよいよ卒園式ですね。この学年の子達は、私にとって初めて3年間携われた学年です。年少の登園初日はほとんどの子が初めましてだったからか、子どもたちにも伝わるくらい緊張していたのを今でも覚えています。帰りのバスに添乗していたおかげで保護者の方々とお話する機会がたくさんありました。夕方保育のお迎えの時間でも保育中にあった色々な出来事について直接共有し、お話し出来た時間がすごく嬉しかったです。遊びの中でも子どもたちに教えてもらうことがすごく多くありました。例えばこまヒモの巻き方や上手く回すコツ、折り紙の折り方やカードゲームのやり方や新しい鬼ごっこなどここには書ききれないくらいありました。自分の存在が「先生」というより「友達」に近い存在であったのかな、と思うと嬉しく思います。だからなのか、子どもから「ももちゃんって、いつ仕事してるの？」なんて聞かれることもありました笑 この3年間の中で、私は子どもたちから色々な言葉や話をしました。お家での話、家族の話、友達の話、なかよしで遊んだ話などなど…。私の話を聞いてくれることもありました。こんな風にコミュニケーションを取っていく中で今の関係性があるのかな、と思いました。「3年間」は一言で言い表すにはもったいないですが、振り返ると早かったけれどすごく濃くてぎゅぎゅっと詰まった時間でした。当たり前のことですが、朝の「おはよう」や、帰りの「ばいばい」の挨拶でさえ返してくれるのが嬉しくて。こういう当たり前な小さなコミュニケーションでも大切していきたいと改めて感じました。明日、

卒園児の歌う「またあえる日まで」は歌詞も刺さってきて…友達と目を合わせたり手を繋いだり前を向いて歌う子どもたちの姿に毎日涙を堪えながら聴いていますが…明日は我慢せず泣きます！長くなってしまいました。卒園式当日も時間のある限りにはなりますが、色々なお話が出来たら嬉しいです。明日はたくさん泣いてたくさん笑って同じ気持ちを共有出来たら嬉しいです！3年間、本当にありがとうございました。

遠藤 百華(ももちゃん)

いよいよ明日は卒園式。年少組から3年間、私にとって一緒に学んで携われた事はとても大切に素敵な時間でした。自分の子どもも大きくなってしまった今、もう一度子育てを楽しませていただいているようなそんな毎日でした。

年少組。とにかく小さかったですね…お家の方から離れて初めての社会。初めは私も、かなり警戒されました(笑)知らない大人にリュックを仕舞おうにも触らせてくれない。抱っこも拒否。目も合わせてくれないなんて姿もありました(笑)入室を嫌がり登園してから降園までお部屋に入らない日々もありました。色々思い出していると涙が出ている私です。

このなかよしで、みんなでたくさん経験をして意見をぶつけ合い、喧嘩もしながら成長してきました。ぴっぴとあんこちゃんは、常々、子ども達に自分の気持ちをきちんと言葉で伝える大切さを話してきました。ミーティングの機会を多く持ち、みんなの前で意見を発表したりする中で自己肯定感を各々が高めると、クラスとしての団結力がものすごく大きくなりました。仲間って素敵だな〜と知った子ども達はもう無敵で最強！ものすごく良い雰囲気です。とてもいい形で明日の卒園式を迎えようとしています。

先日、何気ない日常の中で『ねえかんちゃん。いつもお世話してくれて、どうもありがとうね』なんて言葉を子どもからもらいました。ありがとうなんてこちらの台詞です…🥹

この子ども達にはなんとも、愛おしい素敵な時間をいただきました。まだ側で成長を見ていたいな、離れたくないなというのが本音ですが、前を向いている子ども達にそんなマイナスな発言はダメですね🥹明日は笑顔で元気に門出をお祝いしたいと思います。

いつかは親元からも巣立っていく子ども達。それって意外にあっという間なんです。お家の方も、毎日大変ですが、今を大事に子育て楽しんでくださいね。

長くなってしまいました。至らない点も沢山あったと思いますが、3年間本当にお世話になりどうもありがとうございました。明日の卒園式どうぞよろしく願いいたします。

官野 理絵(かんちゃん)